

LONGEST RALLY (最長のラリー)

国際大会の女子複の試合では、長いラリーがしばしば見られます。

9月に国内で行われた「DAIHATSU YONEX ジャパンオープン」の準決勝のWDで、何と「204回のショット(ストローク)のラリー」が記録されました。(ギネス記録か?)

このラリーは、日本のホープである福島由紀/廣田彩花組とインドネシアのグレイシア・ポリー/アプリアニ・ラハユ組の試合の第2ゲームの時でした。

ポリー組が先に11点を取り、インターバル明けは、ラハユのサービスで始まりました。写真その後、長い長いラリーが続き、廣田のスマッシュにラハユがレシーブエラーをしてラリーがやっと終わったのです。写真

さて、このラリーは何分何秒かかったのか下の写真でわかります。3分34秒でした。写真

結局、この試合は福島組が21/12,21/12で勝利し決勝に進みました。

決勝は、中国のチェンチンチェン/ジャイーファン組と対戦し、21/15、21/12で優勝しました。

写真は、JSPORTSの中継放送から寸借しました。

写真



写真



写真

204回のショットのラリーに歓声を上げるギャラリーの風景です。



LONGEST RALLY : 204 SHOTS

さて、ここで「204回のラリー」という表現はしないでください。

というのは、ラリーの定義が「サービスで始まったシャトルがインプレーでなくなるまでの1回またはそれ以上のストロークの繰り返し」であるからです。すなわち、ラリーは単数なのです。

「長いラリー」という表現は許されます。

以上